

令和8年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

国 語

言葉に関心をもち、言語活動を通して、複数の情報を整理して内容を正確に理解するとともに、根拠を明確にして自分の考えを適切に表現する学習をしましょう。

問題内容・得点状況等

一（１）説明的な文章の問題

本文は、物語を読むときに、読み手の心が動く上で重要な役割を果たす「移入」と「同一化」について、それぞれの特徴を比喻や具体的な例を挙げながら述べた文章です。説明的な文章の内容や要旨を正確に捉えているかをみる問題です。得点率は78.5%でした。

問一は、文章の展開を捉え、空欄に入る語句を選ぶ問題です。

問二は、比喻の部分の正確に捉え、その初めの部分を抜き出す問題です。文章全体と部分との関係に注意しながら読み、内容を把握することが大切です。

問三は、指示語の示す内容を正確に捉えた上で、空欄に入る内容を指定された字数で抜き出す問題です。複数の情報を整理し、必要な情報を正確に捉えることが大切です。

問四は、段落の役割について適切に説明したものを選ぶ問題です。論理の展開を捉え、文章の内容を正確に理解することが大切です。

問五は、必要な情報を正確に捉え、空欄に入る内容を指定された字数でまとめる問題です。

説明的な文章では、文章の中心的部分と付加的部分、主張と例示との関係、文章の構成や論理の展開などに注意して読むとともに、根拠を明確にして自分の考えをもち、表現することが大切です。

一（２）主に語句・語彙や書写に関する問題

（１）の文章を基に、レポートを書く活動を想定して、語句・語彙や書写に関する知識を問う問題です。得点率は68.5%でした。

問一は、指定された内容と同じ意味の語句を抜き出す問題です。

問二は、指定された漢字と同じ漢字を用いるものを選ぶ問題です。

問三は、指定された部分の意味を正確に理解し、同じ意味で用いられているものを選ぶ問題です。

問四は、漢字の読みを答える問題です。

問五は、指定された単語の品詞や活用形を正確に理解し、同じ品詞で同じ活用形の単語を抜き出す問題です。

問六は、指定された部分に表れている行書の特徴を理解し、同じ特徴が表われた漢字を選ぶ問題です。

話や文章の中で語句を使うことを通して、社会生活の中で使いこなせる語句を増やし、確実に習得していくことが大切です。また、楷書とともに行書の基礎的な書き方について正しく理解することも大切です。

二 文学的な文章の問題

本文は、主人公が父親の仕事を実際に体験することで、仕事の大変さや父親の仕事に向き合う姿勢に気付き、父親に対する心情が変化していく様子を描いた小説の一部です。文学的な文章において、場面の展開、情景や人物の描写に着目しながら、心情の変化を捉えているかをみる問題です。得点率は65.6%でした。

問一は、品詞が他と異なるものを選ぶ問題です。

問二は、登場人物の言動の意味について考え、内容を解釈し、指定された字数でまとめる問題です。場面の展開や描写、登場人物の言動などに注意しながら読むことが大切です。

問三は、表現の効果について適切なものを選ぶ問題です。場面の設定や描写に着目しながら読み、表現する内容がどのようなことを印象付けているかを捉えることが大切です。

問四は、登場人物の心情の変化を読み取り、本文中から指定された字数で抜き出したりまとめたりする問題です。

文学的な文章では、登場人物の言動や心情、描写、場面の展開や登場人物の設定の仕方などに注意して読むとともに、表現の仕方や、文章に表れているものの見方や考え方について、文章中の叙述を根拠にして自分の考えをもち、表現することが大切です。

三 古典の問題

本文は、『韓非子 第二冊』からの出題です。韓非が主張する法による統治について述べたもので、現代語訳を手掛かりとして古典の内容を理解しているかをみる問題です。得点率は74.7%でした。

問一は、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題です。

問二は、漢字のもつ意味を理解し、同じ意味で用いられている漢字を選ぶ問題です。

問三は、話の流れを踏まえた上で、適切な語句を選ぶ問題です。

問四は、訓点に従って書き下し文にする問題です。漢文の訓読の方法を正確に理解することが大切です。

問五は、本文についての会話文を手掛かりとして、空欄に入る内容を指定された字数でまとめたり、本文中から抜き出したりする問題です。複数の情報を整理しながら必要な情報を得て、本文の趣旨を読み取ることが大切です。

古典では、特有のリズムを味わうとともに、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることが大切です。

四 作文の問題

言葉を用いたコミュニケーションについて、事例とアンケート結果を基に、自分の考えを具体的に述べることができているかをみる問題です。複数の情報から必要な情報を取り出して比較し、自分の知識や経験と関連付けて、自分の考えを文章にまとめる力を総合的にみる問題です。得点率は71.5%でした。

伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係を明確にし、資料を適切に引用して、自分の知識や経験と結び付けて書くことが大切です。

〈まとめ〉

文章の内容を正確に理解するとともに、根拠を明確にしながら自分の考えを表現する問題を出題しました。

全体の得点率は前年度より9.9ポイント上がり、71.9%でした。

文章を読む際は、構成や展開、描写に注意して読むことや、なぜそのような構成や展開になっているのか、表現がどのような働きをしているのかについて根拠を明確にして考えることが大切です。

書いたり話したりする際には、自分の考えを効果的に伝えるために、伝える相手や目的に応じてどのような表現が適切であるかを常に考え、表現や構成を工夫するよう意識することが大切です。

令和8年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

数 学

数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、それらを活用して問題を解決する力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 全領域の基礎的・基本的な知識及び技能に関する問題

大問2から大問6の出題内容を踏まえて広い範囲から出題した、基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題です。得点率は80.1%でした。

(1) は、正の数と負の数の四則計算の問題です。

(2) は、1次式の計算の問題です。

(3) は、平方根をふくむ式の四則計算の問題です。

(4) は、 y が x に反比例する関数について、 x の値に対応する y の値を求める問題です。

(5) は、文字を用いた式について、等式の性質をもとに式を変形する問題です。

(6) は、最小の階級から中央値をふくむ階級までの度数の総和を用いて、累積相対度数を求める問題です。

(7) は、 y が x の2乗に比例する関数のグラフをかく問題です。

(8) は、小さい順に並べられたデータから、四分位範囲を求める問題です。

(9) は、標本調査から母集団の傾向を推定する問題です。

問われていることが何かを正確に把握し、適切に表現・処理することが大切です。

2 「データの活用」領域の確率に関する問題

起こり得る場合の数をもとにして確率を求め、事象の起こりやすさを考察する問題です。得点率は56.2%でした。

(1) は、実験によって起こり得る場合を選択する問題です。

(2) は、確率を用いて、最も起こりやすい場合がどれかを説明する問題です。

樹形図や表などを使って、起こり得る場合を順序よく整理して、確率を求めることが大切です。

3 「数と式」領域の文字式の利用に関する問題

具体的な場面について、一次方程式や二次方程式を用いて考察する問題です。得点率は43.2%でした。

(1) は、文字を用いて数量の関係を表した式の意味を読み取り、その式が表す数量として正しいものを選択する問題です。

(2) は、与えられた条件から一次方程式をつくる問題です。

(3) は、与えられた条件から二次方程式をつくって解き、得られた解が問題の答えとして適切であるかどうかを判断して、長方形の紙の縦の長さや横の長さを求める問題で

す。

数量を文字を用いた式で表したり、等しい数量の関係を方程式で表したりすることが大切です。また、それらの式の意味を読み取ることが大切です。さらに、方程式の解が問題の答えとして適切であるかどうかを調べることが大切です。

4 「関数」領域の一次関数に関する問題

具体的な場面について、一次関数を用いて考察し表現する問題です。得点率は41.3%でした。

(1) は、与えられた条件から、グラフ上にある点の座標を選択する問題です。

(2) は、与えられた条件に対応するグラフ上にある2点の座標に着目し、 x と y の関係を式に表す問題です。

(3) は、二つの数量の関係に着目し、その関係を一次関数の式やグラフに表し、2直線の交点の x 座標を求め、追いついた時間を考察する問題です。

式、グラフを相互に関連付けて、事象を考察することが大切です。また、変化の割合や2直線の交点の座標が表しているものなどを、具体的な場面と結び付けて考察することが大切です。

5 「図形」領域の平面図形に関する問題

平面図形について、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する問題です。得点率は39.7%でした。

(1) は、与えられた条件において、常に成り立つものを選択する問題です。

(2) は、二つの三角形が合同であることの根拠となる三角形の合同条件を答える問題です。

(3) は、平行線の錯角が等しいことと合同な三角形の対応する角が等しいことに着目し、二つの三角形が相似であることを証明する問題です。

(4) は、相似比と面積比との関係や平行線と線分の比の関係、高さが等しい三角形の底辺の比と面積比との関係に着目し、三角形の面積比を求める問題です。

図形の性質について、根拠を明らかにして説明することが大切です。また、証明をする際には、証明の方針を立てることや、証明したことを振り返って新たな性質を見いだすことが大切です。さらに、三角形の面積比を求める際には、基本的な図形の性質や、図形の合同や相似に着目することが大切です。

6 「図形」領域の空間図形に関する問題

空間図形について、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する問題です。得点率は20.1%でした。

(1) は、立体の一辺とねじれの位置にある辺の本数を答える問題です。

(2) は、与えられた条件から、等しい数量の関係を方程式に表し、立体の辺の長さを求める問題です。

(3) は、立体の必要な部分に着目し、展開図として平面上に表現し、図形の性質を活

用して線分の長さを求める問題です。

図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察することが大切です。また、目的に応じて空間図形の一部を展開図として表現して捉えたり、展開図から空間図形のもつ性質を考察したりすることが大切です。

〈まとめ〉

全領域において、数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能や、思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題しました。

全体の得点率は、前年度より4.0ポイント上がり、51.1%でした。

数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、それらを活用して論理的に考察し表現する学習に取り組むことが大切です。特に、数学的な見方・考え方を働かせ、数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、問題解決の過程を説明したり、条件を変えて考察したりするなど、発展的に学習に取り組むことが大切です。

令和8年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

社 会

社会的な事柄やできごとを理解し、様々な側面、立場などから捉えたり、社会に見られる課題の解決に向けて自分の意見や考えをまとめたりする学習を通して、知識及び技能、思考力・判断力・表現力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 古代から近代までの日本の歴史に関する問題

わが国の古代から近代までの時代の特色と人々の暮らしについてまとめた表をもとに、歴史の大きな流れについて問う問題です。得点率は47.4％でした。

問1は、古代の文化の特色について、正倉院と関わりのある人物を選ぶ問題です。

問2は、「土地」「御家人」の語句を使って、中世の武士による支配の広がりについて、文を完成させる問題です。

問3は、資料から読み取れることをもとに、土一揆に関する碑文の内容について、文を完成させる問題です。

問4は、近世に行われた貿易について、松前藩に最も関係が深いものを選ぶ問題です。

問5は、近世の都市の発展について、株仲間認められた特権を答え、文を完成させる問題です。

問6は、近代国家のしくみが整う過程について、年代が古い方から順にできごとを並べる問題です。

歴史上のできごとや人物などについて調べたり考えたりする際には、年表・地図・写真・統計・図表などの様々な資料を活用しながら、政治、産業、経済、外交、文化などの側面から各時代の特色を明らかにし、わが国の歴史の大きな流れを捉えることが大切です。

2 近代以降の日本や世界の歴史に関する問題

近代以降のおもなできごとをまとめたカードをもとに、政治、経済、わが国と世界との関わりについて問う問題です。得点率は57.8％でした。

問1は、近世と近代の税の制度の違いについて、地券に関する資料から読み取れることをもとに、「地価」の語句を使って文を完成させる問題です。

問2は、大正デモクラシーの時期の思想と社会運動について、「民衆」の語句を使って適切な内容を答え、あてはまる語句を選ぶ問題です。

問3は、世界恐慌がわが国の生糸の貿易に与えた影響について、生糸の貿易に関する資料から読み取れることを説明する問題です。

問4は、高度経済成長の時期のわが国のできごとを選ぶ問題です。

近代以降の歴史の学習を進める際には、わが国の歴史上のできごとを、様々な資料を活用しながら世界の動きとの関わりから捉えることが大切です。また、時期や年代に着目しながら、政治、産業、経済、外交、文化などの側面から、学習した内容を比較したり関連づけたりすることが大切です。

3 世界の地理に関する問題

略地図、表、資料、写真をもとに、世界の州や国の特色について問う問題です。得点率は54.5%でした。

問1は、東京との時差が最も大きい都市を、地図中の都市から選ぶ問題です。

問2は、一人あたり国内総生産、65歳以上人口割合、輸出額に関する表から読み取れることをもとに、地図中に示された国にあてはまるものを選ぶ問題です。

問3は、おもな農産物の州別生産量の割合に関する資料から読み取れることをもとに、地図中に示された州にあてはまるものを選ぶ問題です。

問4は、雨温図と写真からわかることをもとに、熱帯の気候の特色と、建物が高床である理由について適切な内容を答え、文を完成させる問題です。

問5は、資料から読み取れることをもとに、地図中に示された国に日本企業が進出する理由と、その国の輸出品の変化について適切な内容を答え、文を完成させる問題です。

自然環境や人々の生活、経済、文化などについて、世界各州の違いに関心をもつことが大切です。また、地図や各種の統計資料などを読み取り、比較したり関連づけたりして、各州の特色やその要因を考えることで、地域的特色を捉えることが大切です。

4 日本の地理に関する問題

略地図、資料をもとに、日本の様々な地域の特色について問う問題です。得点率は57.1%でした。

問1は、東北地方の気候の特色について、資料から読み取れることをもとに適切な内容を答え、文を完成させる問題です。

問2は、九州地方の自然環境と産業との関わりについて、あてはまる語句を選び、文を完成させる問題です。

問3は、地方別の農業産出額に占めるおもな産物の割合に関する資料から読み取れることをもとに、米を示すものを選ぶ問題です。

問4は、京都市における建造物の規制の理由について、資料から読み取れることをもとに、「保存」の語句を使って適切な内容を答え、文を完成させる問題です。

問5は、大阪市中央卸売市場における真鯛とみょうがの取り扱い総量の変化について、中国・四国地方と近畿地方との結びつきに関する資料から読み取れることを関連づけて適切な内容を答え、文を完成させる問題です。

各地域における自然環境や人々の生活、産業、交通などについて理解を深めるとともに、地図や各種の統計資料などを読み取り、それらに示された情報と知識とを結びつけ、地域的特色を捉えることが大切です。

5 現代の政治、経済に関する問題

発表原稿をもとに、政治や経済のしくみについて問う問題です。得点率は56.0%でした。

問1は、地方自治における地域の住民がもつ権利について、適切な語句を答える問題

と、あてはまる語句を選ぶ問題です。

問2は、衆議院が解散されて内閣が成立するまでの流れについて、与えられた内容を順番に並べる問題です。

問3は、三権分立と裁判所の権限について、あてはまる語句を選び、適切な内容を答える問題です。

問4は、景気変動と企業活動について、あてはまる語句を選ぶ問題です。

問5は、円とドルの為替レートの推移について、資料から適切に情報を読み取り、あてはまる語句を選ぶ問題です。

問6は、家計と消費について、売買の契約が成立する条件や、売る側と買う側の商品に関する情報の差について答えるとともに、「一定期間内」の語句を使ってクーリングオフのしくみについて答える問題です。

現代社会の諸課題が起こっている原因や影響を追究し、自分の考えを説明したり、他者と議論したりする活動を通して考えを深め、制度やしくみの意義や働きを捉えることが大切です。

6 現代社会の課題に関する問題

会話文と資料集をもとに、国際社会におけるわが国の役割について問う問題です。得点率は49.1%でした。

問1は、先進国と発展途上国における経済格差について、適切な語句を答える問題です。

問2は、カンボジアの首都の水道設備に対するわが国の支援について、資料から読み取れることをもとに、「整備」の語句を使って適切な内容を答え、会話文を完成させる問題です。

問3は、資料から読み取れることを関連づけて、わが国の技術支援による人材育成の取り組みを答え、会話文を完成させる問題です。

広い視野で社会に関心をもち、地理的分野及び歴史的・社会的分野、公民的分野で学んだことを総合的に活用し、現代社会が抱える諸課題の解決に向けて、様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現することが大切です。

〈まとめ〉

各分野にわたり、地図・統計・図表など様々な資料を提示し、基礎的・基本的な知識、資料を活用する技能、これらの知識及び技能を用いて思考・判断・表現する力を問う問題を出題しました。

全体の得点率は前年度より2.3ポイント下がり、53.8%でした。

基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、日頃から様々な資料が示す意味（分布、推移、割合など）を読み取ること、複数の資料から読み取れることを関連づけて考察すること、考察したことを相手に分かりやすく適切に表現することを意識して、学習に取り組むことが大切です。

令和8年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

理 科

見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を整理し、分析して解釈するなど、科学的に探究する過程を通して、基礎的・基本的な知識・技能と科学的な思考力や表現力を身に付けましょう。

問題内容・得点状況等

1 生物領域に関する問題

植物の特徴と分類に関する問題です。得点率は58.3%でした。

問1は、ルーペの正しい使い方を答える問題です。

問2は、スズメノカタビラの葉脈のようすをかく問題です。

問3は、表に示された植物を分類する問題です。

問4は、からだのつくりの特徴から、シダ植物とコケ植物に分類する問題です。

植物を比較して共通点や相違点を見だし、特徴によって分類し、整理する学習が大切です。

2 生物領域に関する問題

自然界のつり合いに関する問題です。得点率は69.1%でした。

問1は、菌類・細菌類のはたらきについて説明する問題です。

問2は、自然界の炭素循環の図の中から植物を表すものを選び、そう判断した理由を答える問題です。

問3は、同じ地域の、食物連鎖の関係にある生物の数量の変化について説明する問題です。

自然界では生態系の中で様々な生物が相互に関係しながら生活し、つり合いが保たれていることを見だし、学習した内容と関連付けて資料を分析・解釈する学習が大切です。

3 化学領域に関する問題

金属と酸素が化合するときの質量の変化に関する問題です。得点率は52.6%でした。

問1は、ガスバーナーに火をつけるときの操作を正しい順番に並べる問題です。

問2は、加熱前の銅の質量と銅と化合した酸素の質量の関係をグラフに表現する問題です。

問3は、マグネシウムと酸素が化合する化学変化を、化学反応式で表す問題と、加熱前のマグネシウムの質量とマグネシウムと化合した酸素の質量の比率を求める問題です。

化学変化の際の物質の質量の変化を測定する実験の結果から、反応する物質の質量の関係を導き出す学習が大切です。また、化学変化を原子や分子のモデルと関係付けて化学反応式で表すことができるように学習することが大切です。

4 化学領域に関する問題

炭酸水素ナトリウムの熱分解に関する問題です。得点率は64.3%でした。

問1は、水上置換法で気体を集めるときに、はじめに出てきた気体を使わない理由を答える問題です。

問2は、炭酸水素ナトリウムの加熱により生成した物質と元の物質の性質の違いを答える問題です。

問3(1)は、炭酸水素ナトリウムを加熱したときに生成する気体と液体を化学式で表す問題です。(2)は、分解が起こる化学変化を選ぶ問題です。

物質を分解する実験を行い、実験結果から、分解して生成した物質と元の物質の違いについて考察する学習が大切です。

5 地学領域に関する問題

月と金星の運動と見え方に関する問題です。得点率は43.2%でした。

問1は、同じ日に見える月の位置が、時間がたつとともに動いて見えた向きを選ぶ問題と、月の位置が時間とともに変わる理由を答える問題です。

問2は、日がたつにつれて同じ時刻に見える月の位置が移動する向きを選ぶ問題と、月が地球の衛星であることを選ぶ問題です。

問3(1)は、金星の見え方から、公転する金星の位置を答える問題です。(2)は、金星の見え方について説明する問題です。

月の観察記録や写真、映像などの資料を基に、月の見え方の特徴を見だし、それを太陽と月の位置関係や月の運動と関連付けて理解することが大切です。また、天体シミュレーションソフトなどの金星の観察資料をもとに、金星の公転と見え方を関連付けて理解する学習が大切です。

6 地学領域に関する問題

火山活動と火山灰に関する問題です。得点率は63.9%でした。

問1は、火山灰が白っぽい色をしている理由を答える問題です。

問2は、火山灰にふくまれる鉱物を選ぶ問題です。

問3は、白っぽい色の火山灰を噴出する火山の形とマグマの性質を答える問題です。

問4(1)は、火山噴火と地層の重なりや広がり方を説明する問題です。(2)は、火山灰が堆積し、おし固められてできる岩石を答える問題です。

火山の形や活動の様子及び火山噴出物の観察記録や資料の活用を通して、火山及び火山噴出物とマグマの性質との関連を考察することが大切です。

7 物理領域に関する問題

電熱線の発熱に関する問題です。得点率は35.2%でした。

問1は、電気用図記号を使って装置の回路を回路図で表す問題です。

問2は、電力及び電流を流した時間と、発生した熱量との関係を、表やグラフから読みとる問題です。また、電熱線で発生した熱量を求める問題です。

問3は、2個の電熱線を直列または並列に接続したときに電熱線で発生した熱量を、電流を流した時間や電力と関連付けて考え、電熱線1つの抵抗の大きさを求める問題と、電熱線を直列につないだものを用いたときについて、電流を流した時間と水の上昇温度の関係をグラフに表現する問題です。

電熱線に電流を流し発生する熱量を調べる実験を行い、水の温度上昇は時間に関係することを見いだすとともに、電力の違いによって発生する熱量に違いがあることを理解する学習が大切です。

8 物理領域に関する問題

浮力と水圧に関する問題です。得点率は30.1%でした。

問1は、作用・反作用の関係にある力を選ぶ問題です。

問2(1)は、浮力の大きさと水中部分の物体の体積の関係を説明する問題と、3つの物体に働く浮力の大きさの比率を求める問題です。(2)は、水中の物体にはたらく水圧と浮力の関係を説明する問題です。

問3は、水に浮いた状態で静止している物体に働く浮力を作図で表現する問題です。

ばねばかりにつるした物体を水中に沈める実験を行い、浮力が働くことを理解するとともに、浮力の大きさについて、水中にある物体に働く水圧と関連付けて考察する学習が大切です。

〈まとめ〉

授業で行う観察、実験を中心に、各分野から出題しました。その際、自然科学の概念と科学の方法を用いて課題を解決する力をみるように配慮しました。また、観察、実験の結果や資料から、図や表、グラフを用いて考察する問題を出題しました。

全体の得点率は前年より3.4ポイント上がり、51.8%でした。

理科の授業において、自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験に主体的に取り組み、結果を整理し、図や表、グラフなどにまとめて考察したり、日常生活や社会と関係付けて説明したりすることが大切です。

令和8年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

英 語

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の4技能（5領域）を高め、思考力・判断力・表現力等を身に付ける学習を繰り返しましょう。

問題内容・得点状況等

【英語リスニングテスト】

英語の質問に英語で適切に答えたり、必要な情報やまとまりのある英文の要点を聞き取ったりする力を問う問題です。得点率は51.9%でした。

問題1は、英語の短い質問を聞き取り、文字を介さずに適切な応答を選ぶ問題です。

問題2は、図を見ながら、情報を正確に聞き取り、質問に答える問題です。

問題3は、2人の対話の要点を正確に聞き取り、質問に対する答えを選ぶ問題です。

問題4<問1>は、英語の授業にゲストとして来た方の海外での体験談を聞き、要点を捉え、質問に答える問題です。<問2>は、関連する質問を聞き、自分の考えを表現する問題です。

質問を正確に聞き取って即座に答えたり、まとまりのある英文を聞きながらメモをとり、そのメモを活用しながら質問に答えたり、自分の考えを表現したりすることが大切です。

【英語筆記テスト】

1 「話すこと」に関する問題

英語による対話文を読んで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて表現する力を問う問題です。得点率は68.0%でした。

英文の構造と意味を理解するだけでなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを想定して英語でやり取りすることが大切です。

2 「話すこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題

英語による会話とレポートを読んで、概要や要点を把握する力を問う問題です。授業中に、ネパールから来た留学生とペアワークを行い、それぞれの文化について話し合うという内容の会話と、授業を振り返って書いたレポートを読み取ります。得点率は43.0%でした。

問1は、会話の内容を理解し、語と語の区切りやつながりに注意して、正しい語順に並べ文を完成させる問題です。

問2は、会話の内容を理解し、適切な文を選ぶ問題です。

問3(1)は、会話とレポートの概要や要点を捉え、適切な文を選ぶ問題です。

問3(2)は、会話とレポートの概要や要点を捉え、質問に答える問題です。

日頃からまとまりのある英文を聞いたり読んだりして概要や要点を捉え、それをもとに話したり書いたりすることが大切です。

3 「読むこと」「書くこと」に関する問題

まとまりのある英文を読んで、概要や要点を捉える力や、読み取った内容をもとに自分の考えを表現する力を問う問題です。留学生との出会いを機に、自らの夢に希望をもち、その実現に向けて前向きに取り組んでいくという内容の英文を読み取ります。得点率は50.7%でした。

問1は、英語による質問の答えとなる部分を読み取り、英語で答える問題です。

問2は、英文の概要を捉え、指定された英文を適切な箇所に入れる問題です。

問3は、英文の下線部が示す具体的な内容を読み取り、日本語で説明する問題です。

問4は、英文の概要や要点を捉え、内容に合う文を選ぶ問題です。

問5は、英文に関連する質問について、自分の考えを表現する問題です。

日頃からまとまりのある英文を読んで概要や要点を捉え、読み取った内容をもとに自分の考えや気持ちなどを英語で表現することが大切です。

4 「書くこと」に関する問題

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えが相手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意してまとまりのある英文を書く力を問う問題です。

外国に住んでいる友人からメールで意見を求められるという場面設定で、人々はペットボトルを使うのをやめるべきであるという意見に対して賛成か反対かを述べ、その理由を30語以上の英語で書く問題です。得点率は41.8%でした。

日常的な話題や社会的な話題について、自分が考えたことや感じたことを伝えるために、文と文のつながりや順序、文章の構成を意識しながら、全体として一貫性のある英文を書く学習を行うことが必要です。また、自分の考えを、自分がもっている知識やこれまでの経験と結び付けて書くことが大切です。

〈まとめ〉

中学生にとって身近な場面を取り上げ、基礎的・基本的な知識を活用して、英語を理解したり、自分の考えを表現したりする問題を出题しました。全体の得点率は前年度より0.2ポイント下がり、50.9%でした。

英語でのコミュニケーション能力の向上に向けて、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の4技能（5領域）をバランスよく高めることが重要です。そのためには、語彙や表現を充実させるとともに、正確に聞き取り、即座に応答する学習を行うなど、目的や場面、状況などに応じたコミュニケーションを行う学習に繰り返し取り組むことが大切です。